

分岐点

私のターニングポイント

1999 (平成 11) 年

1999年の 主な出来事

- ・欧州連合で統一通貨ユーロを導入
- ・法律に基づく初めての脳死臓器移植が実施される
- ・NATO軍がユーゴスラビアを空爆
- ・西武の大物ルーキー、松坂大輔が初登板
- ・アメリカでコロンバイン高校銃乱射事件発生
- ・男女共同参画社会基本法が成立
- ・全日空 61 便ハイジャック事件発生。機長が刺殺され犯人が操縦
- ・神奈川県玄倉川が増水。中洲に取り残されたキャンプ客 13 人が死亡
- ・東海村核燃料施設で日本初の臨界事故発生
- ・神奈川県警の不祥事が相次いで発覚、全国に波及
- ・桶川ストーカー事件

ヒット作品・商品・ 話題のモノ

【ドラマ・映画】

「元禄繚乱」

「アルマゲドン」

「マトリックス」

- ・「だんご 3 兄弟」宇多田ヒカル「First Love」、モーニング娘。「Love マシーン」、椎名林檎「ここでキスして」がヒット



1985年ニューヨーク州立大学演劇学部修士課程修了、カンジヤマ・マイム結成。2006年ウィスコンシン大学博士課程修了Ph.D(応用演劇学博士)2008年よりNHKワールドテレビ番組「日本語クイックレッスン」のコーナーホストとして出演(現在も世界で放送中)。マイムに関する著書、訳書など多数。NHKビデオ「昭和名人芸大全」(第五日収録)。落語協会会員。http://www.kanjyama.com/

藤倉健雄 (カンジヤマ・マイム)

カンジヤマ・マイム主宰、早稲田大学国際教養学部、玉川大学芸術学部非常勤講師

「教育と演劇手法の融合? 40歳過ぎて博士課程? 順調な活動を休止?」……周囲は驚いた。当時テレビ、舞台に大忙しだったマイム芸人にとって、再渡米は築きあげたキャリアを自ら放棄することだった。

私の分岐点は1999年11月28日、ベネッセコーポレーション東京本部にて開催されたチャイルドリサーチネット主宰の「プレイショップ」。これは小学校児童、保護者および教師などを対象に新しい学びの可能性を模索するワークショップである。

この企画のブレインには日米の精鋭研究者達が名を連ねており、その中心が上田信行先生だった。その上田さんから数カ月前に突然、「マイムの教育的応用を!」と声がかかった。ちなみに上田さんとは互いに米国大学院留学中からのお付き合い。会う度に互いの異なる研究畑に驚くべき共通性がある事に興奮し語り合った。

この企画で「自分のストーリーを語る」というマイムコーナーを担当した。大好評を得た。事後、研究者の方々とディスカッションに臨んだ。

学者の皆さんは私のマイム応用技

法を鋭く掘り下げながら将来的展望を理路整然と語った。説得力があった。分析を見事に視覚化する博士たちを前に、実際にそれを指導した私は十分理解していたにも関わらず、その言語化に四苦八苦していた。

私は参加者との身体的対話を瞬時的に感性に頼りながら、即興することには長けていたが、その過程をメタ認知できていないことに気づいた。無論、芸術創造は感性が命である。しかし、同時に感性に身を委ね、芸の教育的展開を他人に対して効率的に視覚化できない不甲斐なさを味わった。「今後芸人は自分の芸を言語化できねば!」

これが刺激となり、フェローシップを支給してくれたウィスコンシン大の博士課程で、今一度演劇技法の教育的応用を学ぶ決心をした。

苦節5年半、40代の自分にムチ打ちながら博士号を取得。後にその博士論文が2008年アメリカ演劇教育協会の最優秀論文賞を受賞した。現在都内の大学で講義しながら全国で舞台公演を続け、自らの教育演劇論、応用マイム論などを展開している。